

2月 ももぐみだより

2021年2月1日
社会福祉法人 尚徳福社会
おぐら保育園

今年度、もも組でいっしょに過ごす時間も残りあと2ヶ月となりました。

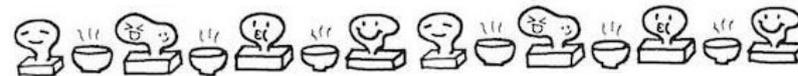
真冬の寒さに負けず、太陽のような明るい笑顔で遊ぶ子どもたち。園庭やお散歩での公園でひんやりとした冷たい空気を肌を感じたり白い吐息を吐いたり、小さな体で季節を感じながら過ごしています。皆との一日一日をますます大切に、過ごしていきたいと感じる今日この頃です。

現在、クラスでは、進級に向けて、みんなで楽しみながら準備をしています。「次の活動のためには何をすべきか」を自分たちで考えながら、見通しを持った行動ができるようにお手伝いしていきます。



お正月あそび

先月のお散歩では、自分たちで作った凧を持って、広い公園で遊びました。凧を渡す時に先生が探していると「これワタシの!」「このピンク僕の!」と我先にと身を乗り出して受け取りに来るほど、人気がありました。午前中は、日が出ているとはいえ、まだ気温が低い時間ですが、子どもたちは何とか高く飛ばそうとして、全速力で走り回り、しばらくすると「ジャンパーぬぐ〜」と言って、体をポッカポカにしていました。



お部屋でのようす

日中の活動で「もうすぐちゅうりっぷ組になるんだよね〜」と友だち同士で話している姿を見るようになってきました。去年から少しずつクラスでは「排泄」「午前中のお着替え」「布団の片づけ」「帰り支度」などを中心に自分でできるように声かけをおこなってきました。徐々にその新しい流れが定着しつつあります。夕方のお部屋では、お互いに片付ける様子を見てがんばっています。引き続き“自分でやろうとする気持ち”を大切に、見守っていきます。



鬼の制作

2月の制作として節分の鬼を作りました。紙コップの下部にクレヨンで模様を描き、その個所を薄めた絵の具に浸して、鬼のパンツに仕上げました。絵の具の下から自らが書いた柄が浮き出てくると「わ〜!」と驚きの声があがりました。乾いた後は、頭部と顔を仕上げ。目、鼻、口はシールで簡単に貼ることができるのですが、全体のバランスを考えながら慎重に貼っている姿が印象的でした。指先の動きや顔の認識がうかがえる制作あそびとなりました。



クラスからのお願い

・自分たちの身の回りのことを自身でする際、靴下や肌着がお部屋で迷子になり、違うお友だちのカバンにお出かけすることがあります。担任間でも気を付けていきますが、ご家庭でも、いまいちど、保育園で着る衣服等の記名を確認いただくと大変助かります。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

